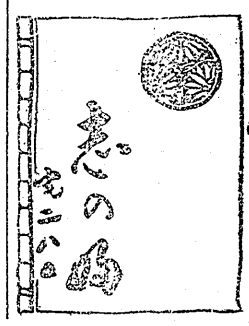
常磐毎日

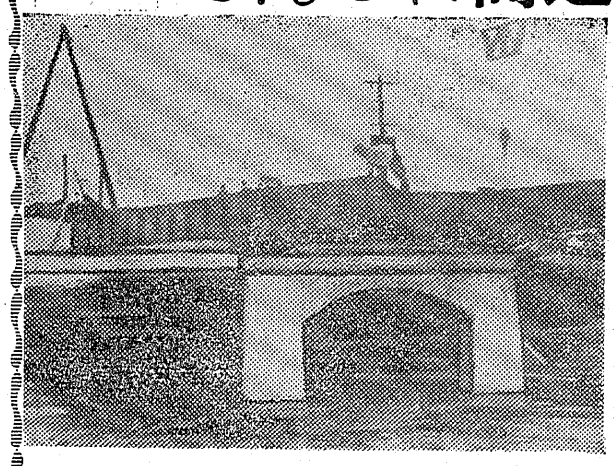
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番



こんどは間違いなし

三年越しの新田橋 四月末までには完成

写真は完成近い新田橋



すでに二年前にできあがるはずだつた平市月見町地内〃新田橋〃は県が責任のない東北ドツクに請負わせたため工事なかばでストップ、その後東北ドツクの保証会社である日本鋼管に肩代り平土木事務所、県が接渉を進めてきたが、このほど問題のメタツプビルバー式鉄筋橋桁が到着、最後の総仕上げである取付工事に着手したので、近く着工新田橋は平市月見町地内を従断している新川に架設されていたものだが、今まで架づている橋は木橋で橋桁などが腐りはじめ自動車などの通行に支障をきたす上、平一江名、平一小名浜間の県道は産業道路としても大きな役割を果していることから総工費五百八十一万五千円でビルバー式鉄筋コンクリート橋に架替えることになり、県が入札で東北ドツク福島工場＝福島市＝に請負させたところ同工場は経営不振で昨年七月で倒産、その後同工場の保証会社である日本鋼管がビルバー式橋桁を製作したが、これまた県と同社の話合がつかず川崎の駅に積出されたまゝ二十日間も雨ざらしになつたなど多くの話題を生じたあげく、このほどようやく双方の話合いがまとまり去る十八日やつと到着、工事中断後約八カ月ぶりで取つけ工事に取かゝつたもの

工事中現場には日本鋼管から取つけに来たトビ職十三名と磐城土建の従業員が全部で二十五名がフルに作業しており四月末までには取付作業も完了、橋長六以来三年越で陽の目を見ることになつた。またこの橋が出来ないため延期されていた向橋以南の平三中などの水道給水も橋の取付作業と併せて着手、四月下旬までには水の悩みも解決されることになつた。

赤旗立てて氣勢

ロックアウト初公判

去る十九日古河好間炭砿会社側の提示したロックアウト（事業場閉鎖）に対する立入禁止仮処分に対して組合側が地裁平支部に不当弾圧として寛議申立をした口頭陳述第一回公判は二十九日午前十時四十分から地裁平支部法廷で大竹裁判長係り、組合側に森長弁護人、会社側に市井、猪狩両弁護人が立合つてひらかれた。

傍聴に先立ち午前十時ごろ組合員約六百名が赤旗をひるがえしねじり鉢巻の物々しい姿で法廷前につめかけ、労働歌を高唱して気勢を挙げたが、傍聴者は二百名と制限され、入廷できなかつた者は廊下、窓などに鈴鳴りになつて公判経過を見守る中で第一回は会社側からは林労務課長、鈴木労務係長、古賀工務課長、楠本労務部委員、組合側から菅波書記長などが証人として証問をうけ午後十二時十五分閉廷した。次回は四月九日午前九時から菅波書記長をのぞく各証人の証問を行う。

不当な弾圧 菅波氏が証言

組合側菅波証人は「我々組合員はあくまで経済による賃上げとして斗争して来た。十四日中央から部分ストにする新しいスト指令が入つたが、これはロックアウトに対する修正指令で職場の立入り禁止が不可能な場合と仮処分がはずされた時は保安要員を確保せよという指令で、組合としては直ちに保安要員の増員を会社側に要請、十七日に会社側から要員を三百一名という案が出されたが、組合としては砿内などの状況から見てもうすこし増員せよと結局三百二十五名の保安要員で了解した。会社側がバリケードを張りめぐらし、過去に例のない歴史的なロックアウトと仮処分を出し、その斗争が裁判所まで持出されるという不当な弾圧的行為を組合に対して行わなければならないということは心外に堪えないものである」と証言した

世界最高水準 瞬間殺菌

高木代議士来平

衆議院行政監察特別委員長高木松吉氏は四月一日午後一時八分平駅着常磐線下り急行で来平する。高木委員長は政務の過労から健康を害し東京の順天堂病院で療養していたが、このほど全快、行政監察ノ再び取り組むことになつたがこの間郷土有志からの激励に応えて当地区視察を兼ねて来平するものであるが、更に平市夏井の故鈴木辰三郎翁の葬参も済ませることになつている。

平のぞき再検討

市営バス 四市側で申入れる

五市共同運行を前提とする市営バスの運行特別調査委員会五市委員の第二回会合は二十八日午後二時から平市議事室で開かれ、各市委員とも全面的に協力はするが、まだ納得のいかない点もあるので平をのぞく四市でもうすこし検討したうえ具体的協力方針を打出すことを約束して午後三時二十分ごろ散会した。

この日の第二回会合は市議選善戦に入つた勿来市が委員代理のほかは各市とも全委員が出席した。まず平市から各市委員会の要望で送附していた平市委員のいままでの調査資料と常磐交通の陳情書に対する意見書の検討結果とそれにともなう各市委員会の態度を披露したが、各市ともほぼ協力できると約束した。

しかし常磐市の越和田委員長が『いままで検討してだいたい判つた。だがまだ納得できない点も数多くあり、このままでは意見の衝突する恐れもあるのでさらにとつくり話合つてより一層具体的方針を打出したい。それには音頭取りの平市がいたのでは重圧を感じるようなので平をのぞく四市で話合いたい』と提案があり、平市も早急に話合つて方針を出してもらいたいと納得、おだやかに午後三時すぎ散会した。

この四市の話合いは三月下旬か四月上旬に行い四月二十八日ごろ開く予定の第三回会合に間に合せることになつている。

バスの第二回会合で常磐市の越和田委員長から平をのぞく四市で話したいという提案はこの会合で具体的な各市の意見が聞かれると期待していた平市当局や委員にチヨット柏手抜けのような感をあたえ、今後の話合いに暗影を投げているような感を抱かせているが、これは常磐交通の決斗状にもひとしいさきの陳情が、常磐市議会、当局、委員の間に想像以上しん透、平市の市営バスに協力反対の態度を示しているものもいるので内郷と磐城の委員が常磐市の委員を慰ぶするため特に平をのぞく四市委員会を持つことになつたものであるともいわれる。

三輪車幼児をはねる

二十八日午前九時十五分ごろ常磐市下浅貝地内常磐炭砿製氷部前国道を走つていた平市丸平製果市場三輪車＝運転手佐藤勝美さん(三)＝は路上で遊んでいた同地内常磐炭砿労務係掘竹武雄さん(三)長男竹伸君(二)をはね飛ばし顔面、などに全治二週間の裂傷をあたえた

五八名に達す

勿來市議選立候補者

昨二十八日告示された勿来市会議員と同教育委員選挙の立候補は二十八日午前中に五十名が届出、ほとんど出揃つたが、さらに午後から六名、二十九日午前中に二名が届けを済ませこれで五十八名となり、競走率は各区とも倍近くになつた、二十八日午後からの立候補者は次の通りである。

▽窪田地区（一二一15）
伊藤日出男(四六)会社員＝現

▽錦地区（八—13）
大平　留松(五六)　農　新
小鍛冶浅雄(四四)　農　現

▽植田地区（七—11）
赤津　亦男(五六)　農　現
蛭田　勝雄(五九)　建　現

▽山田地区（五—12）
下山田松千代(四五)　農　現
三国けん治(七〇)社長　現

▽川部地区（四—7）
坂本太平次(五二)　農　現

教育委員（四—2）
荒井　一二(六三)　農　新
小野　保(五九)　商　新

ハッパの飛石で重傷

二十八日午後六時二十分ごろ大日本勿来鉱第五卸左七方で採炭中の藤川則夫さん(三五)は、約三十六メーター前でかけたハツパの飛石が十五メートル前の炭車に当りはねかえり左肩に当りけんとう骨骨折で一カ月の傷を受けた。

三中給水も解決

また平市水道課でも新田橋ができないため平三中まで消防車で水を運搬する一方同橋の両端まで水道管を敷いて工事着工をまつていたが、同橋の取付け工事と併せて鉄管の敷設作業を行つており四月十五日までには完成する予定であるなお現在平三中、谷川瀬など附近部落三十六戸から水道給水の申込みがきているが通水は試験通水コンクリートの乾燥などで四月下旬ごろの予定である。

長倉小上棟式

一部校舎を増築する市長倉小学校の上棟式は三十日午後九時から同校建築場で行う。

メートル五〇、長さ四十五メートル鉄脚と鉄筋コンクリート舗装の尼子橋と匹敵する立派なものが完成するが、交通開始はコンクリートの養生期間（乾燥）をおえた五月十日ごろの見込み

本田さん表彰さる

植田土木事務所勤務木田義晴さん(五二)は此程大竹知事より長年道路保持に尽したことにより表彰され戸田事務所長より表彰状を二十五日午後授与された。義晴さんは同所に勤務する傍、十七年風雨にもめげず通路保全に尽したもの

地下足袋 運動靴 長靴
本田屋

天気予報

（今晩）南よりの風曇時々雨
（明日）北よりの風曇がち、時々小雨のぐらついた天気
（海上）今晩も明日も南の風引きつづき風波が高く見通しが悪いから漁船は注意を要す

名宝展示会

文部省指定勿来美術館＝旧勿来関跡＝では四月十五日から三十日まで平安朝、鎌倉時代、足利時代の古文書三十点、刀剣十五点外五百点の名宝展示会を催す。

勿来未亡人会

勿来市未亡人会（金成会長）では三十一日午前十時から植田町後宿金成会長宅で被保護母子家庭就職、其の他保証問題について、連絡協議会を開く

吹谷幼稚園PTA改選

常磐市吹谷幼稚園では二十七日午前九時より同園に於てPTA会総会を開き役員選出の結果◆会長池田邦泰氏、副会長舟田義澄氏柴山氏、秋葉大蔵氏に決定した

一日に着工

四高の特別教室

四倉高等学校＝校長太田長夫氏＝では特別教室の建築計画を県に申請中であつたが、この程県より競争入札の結果平市東部産業KKに総工費二百八十万円で落札した旨通達があつた。特別教室は音楽室（二十坪）図書室（二十八坪）と理科準備室（八坪）理科実験室（二十七坪五合）の四教室で、四月一日着工することに決定した。

根本ハナさんの善行

常磐市上浅貝四二無職根本ハナさんがこの程常磐市第二中学校校長加沢龍雄氏にゾウキン二〇〇枚を贈り同校より感謝されている、ハナさんは実娘泰さんが三年間無事に学業を終えた事は校長先生諸先生方の努力の賜ものであるからとひまをみて一日二、三枚を縫つたのがたまつたのでこの程贈つたものである。

鮫川護岸入札

植田土木事務所では川部字宿鮫川護岸（ねがおい）五百五十米の工事請負入札を三十一日午前十時から同事務所で行う。

BSモーター56年新型

磐城市公民館主催バイク技術講習会採用について御好評のBSモーター講習會を次回常磐市にて開く予定です

◎スピード時代のホープBSモーター何処でも誰にでも重宝がられるBSモーターを是非商用に通勤用・運搬用に柔い軽快軽便最少の価格と燃料費で最大の活動出来る強力・堅ろう優美BSモーター　（御購入の節は各市町村BSモーター販売店にて）

輕オートバイハリケン號（旧中島飛行機製造）250cc
第二種バイクハリケン號（四月中に発売予定御期待下さい）125cc

常磐BS商會
常磐市天王崎　TEL（常磐）171

あなたを待つている
希望の大陸は

夢と希望を乗せて流行のように、いち時農村から一般までに大もてした石城地方の南米ブラジルなど海外農業移民熱は、今年に入つてから火の消えたようになり石城農地事務所で金や太鼓をたいて応募運動を行つてもサツパリである。

振わぬ移民希望
今年はわずかに四組

農業移民は昭和二十六年から始まり、石城地方でも赤井出身で北米カリフオルニヤのライスキングといわれる国府田啓三郎さんを始め成功者から移民受入れの手紙が届くなどして二十八年には家族もふくめ五組、八名、二十九年には二十九組、四十八名、三十年には三十九にも組、六十名と全国からの厳選かゝわらず、南米、北米にとかなりの農業移民を送り込み希望者はその三倍から四倍にも達し移民熱は農家は勿論、一般サラリーマン炭砿労務者までにのぼつた。

ところが毎年年初めから響にかけその年の四割以上の申込を受け付けていた石城農地事務所に今年に入つてからはピツタリと止り四月を迎えるというのに常磐市上湯長谷字長倉農業藤斎勝彌さん(三)ら僅か四組、十二名(家族連れ三組)だけというさびしさ、農地事務所では今年はブラジル、北米のほかに南米ドミニカ、ウルグアイ、パラグアイ、ボルビアの各国から募集がありさらに仏印カンボジヤなどからの大量募集も予想されるというのにこれはどうしたことかと市町村役場を通して農村、一般の人たちに呼びかける一方、会合などに係主事が出張説明、移民映画会、講演会を開いて啓蒙宣伝これに務めている。

だがこれら金や太鼓をたたくという宣伝にもかゝわらずサツパリである。同所がいままで調べたところによるとこの少ない原因は町村の普及不徹底のためもあるが、こゝ二、三年農村、炭砿、商店などに続いた不況が昨年秋の豊作以来立直り、経済好況がきたためと希望していても厳選されてふるい落されるから希望しても無だだと観念的になつて来た為と見られるこれに対し同所では条件が揃つていればほとんど合格出来る、見込のない希望者は審査を受ける前に同所であきらめさせると語つており、一応希望者は同所の窓口をたたくよう希望している、尚同所は平市童根町にある

鈴木主任の話

最近特に少なくなつて来た、これにはいろいろな事情が考えられるが趣旨が徹底していないことが大きな原因だ、希望者はどんどん申込んでほしい。

平市の公会堂前にネオンアーチ建設

平市では市公会堂の美化と市制二十周年を記念して来月十七日までに公会堂の入口に高サ十三尺、巾三十尺の大ネオンアーチを建設する準備を進めていたが、二十八日関係者が集つて協議した結果、工費二十万円で着工することに決り市内AD社に依頼、きょうから建設に取りかかつた。公会堂入口にネオンアーチを建設することは東北でも初の試みであり、完成後は夜の平市の新しい名所ともなるものとして関心を集めている。

役員など決まる
平競輪の記念演芸会

平競輪開設五周年を迎えた平市では岡晴夫など有名芸能人一行五十名を招き、さくら祭りのトツプを切り四月一日午後二時から競輪場午後六時から公会堂の二会場で記念演芸会を催し市民に無料公開することになり、前人気をあおつているが、当日の世話役などを二十八日次の通り決めた。

◇委員長諸橋市長、伊藤助役◇副委員長石山一治市議、鈴木農(総務)◇委員水竹伊之助、小川市吉、根本益利、佐藤信雄、鈴木爾太郎、佐藤真雄、川和徳一、小川直吉◇実行委員▽総務鈴木農▽プロ進行係、芸能人係阿部嘉央▽舞台係小沼徳彌▽装飾係丹野由雄▽会場係鈴木聚吾▽輸送係須藤茂左エ門▽警備係菅野警部補など四十三名

四高大野分校遂に廃校

四倉高校＝校長太田長夫氏＝大野分校は昭和二十三年七月から開校され定員四十名に対し毎年定員より希望者が少く、昨年十月県教委から予算の関係で廃校の指令があつたが、地元では存続させたいとの陳情に吉田町長始め太田校長らが再度出県したが、そのかいなく今月三十一日を以つて廃校する旨県から通達があり去る二十七日午前九時から大野分校に太田校長、PTA会長、大野、大浦両支所長始め約十五名らの関係者が集り、廃校式を行つた。

同分校は開校以来八カ年で百八十名の生徒が卒業しており高久夏井、久之浜、草野方面から少なからず通学していたゞけに地元民は勿論関係者から惜まれている。

六號國道の改修
今月中に請負者入札

平から四倉までの六号国道は去る三月一日から測量を開始していた平土木事務所はこのほど測量も終り三月中に継続三カ年工事の第一期工事分として（三十年度予算）延長七百メートル総工費千五百万円の指名入札をする。

なお工事着手は四月初旬からで特失事業とは限定せず公共事業で行う、六号国道は県境を除いては今春後の選びとなつているが平から四倉までと此の国道は着工が遅れていたものでやつと第一期工事に着手したものでこの完成によつて四倉のセメント工場、年間四倉に水揚される約百万貫の魚類の輸送路が完備されるので常磐総合開発に大きな役割を果すものと期待される

湯本礦主婦の会
修学旅行資金を贈る

常磐市常磐炭砿湯本砿主婦連合協議会では、修学旅行費の市補助打切によつて貧困家庭の生徒が修学旅行にゆけない事を知り、去月湯本砿自治会館に於いて催した映画の純益金六千八百円を第二中学校に贈つたので四月十八日より二泊三日、日光東京廻り修学旅行に全生徒が参加できることになり貧困家庭はもとより学校当局から感謝されている。

南白土の共有林焼く

二十八日午後十二時三十分ごろ平市南白土字大作地内の南、北白土部落共有林から出火クヌギ（三年生）九千本、松、杉（十五年生）五十本を焼いた。損害十万円、原因は子供の火遊びから

今晩のラジオ

NHK（第一）

6、00　シンブン南京豆物語
6、25　七つの誓い
6、45　四局通信
7、30　浪花演芸会
8、00　歌の花ごよみ
8、30　由起子
9、15　のんきタクシー
9、40　時の動き
10、15　邦楽名曲選
10、40　歌舞伎の見方味い方

ラジオ福島

6、05　空の向うに何がある
6、15　スイートコンサート
6、40　鞍馬天狗
7、15　タンゴの女王
7、30　歌のトランプ
8、00　民謡典の細道
8、30　浪曲玉手箱
9、00　平凡アワー
9、30　兵衛アワー
10、05　名作アルバム
10、25　夜の音楽会
11、05　時事解説

今晩の映画

世界館
7、17　お化け忠臣蔵
8、24　東京犯罪地図
3日マデ・電58

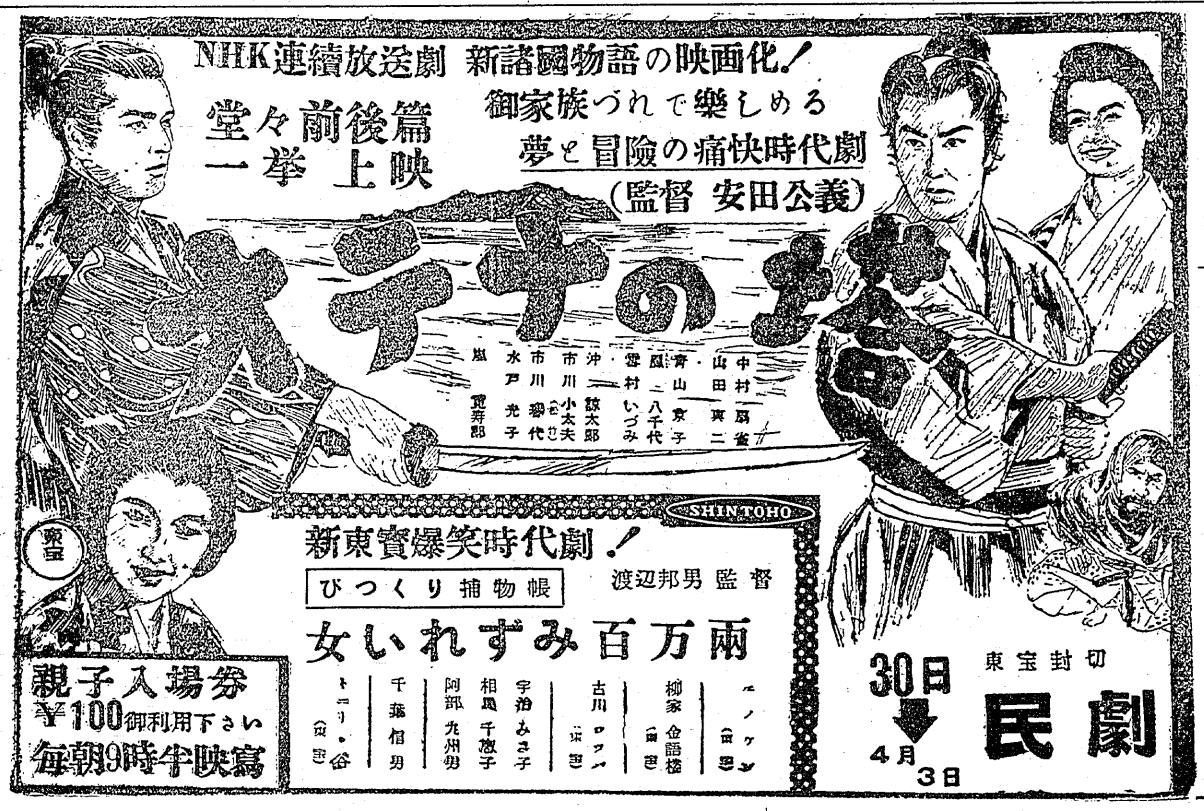
民劇
6、55　女教師の記録
8、35　チヤツカリ夫人とウツカリ夫人
29日マデ・電1322

東映劇場
7、10　鼻の六兵衛
8、32　剣豪二刀流
べらんめえ活人剣
3日マデ・電65

ひかり座
6、30　フレンチカンカン
8、34　愛情は深い海のごとく
2日マデ　電1338

聚楽館
6、55　競輪空路
8、40　腰抜け二丁拳銃
1日マデ・電470

平館
7、04　月明の対決
8、27　風船
3日マデ・電466

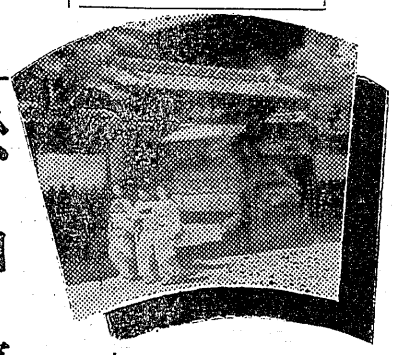


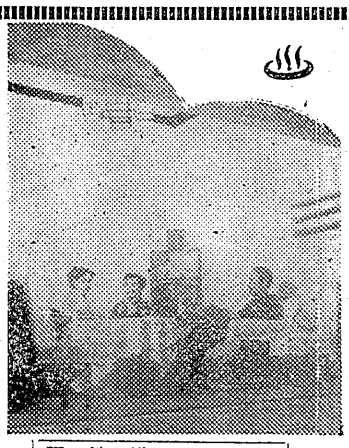
ラジオ古山

常磐線隨一の温泉郷湯本

静かで環境と設備良く優雅な調度と行届いたサービス
御来泊の方々はもとより別して知名人の御賞さんを戴いております
この上共一層の御愛顧をお願い申上げます
……是非御来遊の程
御待ち申上げます……

国鉄推薦旅館　交通公社協定旅館
古瀧
TEL（常磐）159・259


国鉄推薦旅館　交通公社協定旅館
松柏館
電（常磐）五番五五番


こいと
常磐電一三番
国鉄推薦旅館　交通公社協定旅館